

## 親子でふれる造形の世界

生涯学習センターオープン記念として、市内在住の造形作家、廣重明展を開催します。

【とき】 5月13日(日)～27日(日)  
午前9時～午後6時

【ところ】

ハイトピア伊賀 5階ギャラリー  
※また、作家による墨汁を使ったスタンプ画体験教室(小学生向け)を5月20日(日)に開催します。(定員20人・先着順)詳しくは、お問い合わせください。

【申込先・問い合わせ】 生涯学習課  
☎ 22-9679 FAX 22-9692

## 募集 伊賀地域こ二人権大学 講座助成金

【対象】 同和問題をはじめとするあらゆる人権に関する研修会などで、参加者が約25人以上のもの。

【助成内容】 研修会などの講師謝金にかかる経費に対し助成。

※複数回の申し込み可能。ただし、総額3万円まで。

※実績報告などが必要。

【定員】 約18団体 ※先着順

【申込受付期間】

5月18日(金)～12月10日(月)

※延長する場合があります。

【申込先、問い合わせ】

三重県伊賀県民センター県民防災室生活課 ☎ 24-8137 FAX 24-8010

## 男女共同参画連携映画祭

6月の男女共同参画週間に合わせ、県内の男女共同参画センター5館と19市町が連携し、「三重県内男女共同参画連携映画祭2012」を開催します。

【とき】

6月16日(土)  
開場：午後6時  
上映開始：午後6時30分

【ところ】

ふるさと会館いが 大ホール

【内容】

「毎日かあさん」

※鑑賞は無料

【申込方法】 男女共同参画センターまたは各支所住民福祉課までお申し込みください。整理券を配布します。

※先着順

※当日は、必ず整理券を持参してください。お持ちでない場合、入場をお断りする場合があります。

【申込受付開始日】 5月8日(火)

【その他】

○1歳児～未就学児を対象に託児があります。(申込期限：6月7日(木))

※先着10人程度

○他市町での上映内容はお問い合わせください。

【問い合わせ】

人権政策・男女共同参画課

男女共同参画センター

☎ 22-9632 FAX 22-9666

各支所住民福祉課

## お知らせ 日赤社資募集運動にご協力を

5月1日から31日までの1カ月間を「赤十字運動月間」として全国的に日赤社資募集運動が行われます。赤十字は、地震・風水害など大きな災害の発生時には迅速に救護班を派遣し、被災者や傷病者を救護できるように救護要員の育成指導を行うとともに、被災者へ配備するための毛布・日用品セットなどの備蓄に力を注いでいます。このような事業はすべて皆さんからご協力いただいた社資や寄付金の事業資金で行われています。

協賛委員が皆さんのお宅へお伺いしますので、温かいご支援をよろしくお願いします。

【問い合わせ】

厚生保護課

☎ 22-9650 FAX 22-9661

## お知らせ 戦没者追悼式

伊賀市戦没者追悼式を举行しますので、皆さんご参列いただきますようお願いいたします。

【とき】

5月19日(土) 午前10時～

【ところ】

伊賀市文化会館 さまざまホール

【問い合わせ】

厚生保護課

☎ 22-9650 FAX 22-9661

## 自力で避難することが難しい人へ ～災害時要援護者台帳への登録について～

災害時に自力で避難することが困難な高齢者や障がい者など(災害時要援護者)に対して、災害情報の提供や手助けが地域の中で素早く安全に行われる体制づくりをすすめており、地域で避難支援を希望する人の台帳を作成しています。

《対象者(同意方式)》 4月1日現在、次に該当する人へ、5月中に登録同意確認の登録申請書を送付します。台帳登録への同意の有無をご記入の上、提出してください。

※昨年度送った人には、今回は送りません。

- 65歳以上のひとり暮らしの人 ■ 障害者手帳を持っている人
- 65歳以上のみの世帯の人 ■ 介護認定で要介護3～5の人

《対象者(手上げ方式)》

また次の対象者には、申請書は送りませんが、希望すれば台帳へ登録します。詳しくはお問い合わせください。

- 乳幼児・妊婦 ■ 外国人居住者
- そのほか支援が必要な人

【申請先・問い合わせ】 ※各支所住民福祉課・各地区市民センターでも申請できます。

○ 高齢者(65歳以上) 介護高齢福祉課 ☎ 22-9634 FAX 26-3950

○ 高齢者(要介護3～5) 介護高齢福祉課 ☎ 26-3939 FAX 26-3950

○ 障害者手帳を持っている人 障がい福祉課 ☎ 22-9656 FAX 22-9662

○ 乳幼児・妊婦・難病の人 健康推進課 ☎ 22-9653 FAX 22-9666

○ 乳幼児・一人親家庭児童・発達障がいのある人 こども家庭課 ☎ 22-9654 FAX 22-9646

○ 外国人居住者 市民生活課 ☎ 22-9702 FAX 22-9641

○ 申請先が分からない人 介護高齢福祉課 ☎ 26-3940 FAX 26-3950



### 募集 スロートレーニング教室

軽い負荷でしっかり筋肉をつけるスロートレーニングで体脂肪を効率的に燃焼させる方法をマスターし、楽しみながら健康づくりをしませんか。

【と き】 ※毎週金曜日

6月1日・8日・15日・22日・29日、7月6日・13日・20日  
午後7時～8時

【ところ】 城東中学校体育館

【対象】 中学生以上

【講師】 スポーツ推進委員  
福岡 和代さん

【内容】

スロートレーニングメニューを組み合わせエクササイズ

【定員】 40人

※定員を超えた場合は抽選をします。

【参加料】 500円(傷害保険料含む)

【申込方法】 教室名・住所・氏名・電話番号を記入の上、はがき・FAX・Eメールのいずれかでお申し込みください。Eメールの場合はタイトルに必ず教室名を明記してください。

【申込期限】 5月24日(休) 午後5時

【申込先・問い合わせ】

〒518-8501

伊賀市上野丸之内116番地

スポーツ振興課

☎ 22-9680 FAX 22-9692

(5月18日(金)まで)

☎ 47-1284 FAX 47-1290

(5月21日(月)から)

✉ sports@city.iga.lg.jp

### 募集 ゆめドームうえの フィットネス教室 Zumba

Zumbaは、ラテン系の音楽とダンスを融合させて創作されたダンスフィットネスで、速いリズムと遅いリズムの曲が組み合わせられたインターバルトレーニング形式のエクササイズです。

【と き】 6月15日(金)

午後7時30分～8時30分

【ところ】

県立ゆめドームうえの 第一競技場

【対象者】

登録講習会修了者・一般(中学生以上)

【講師】 陶山 美佐さん

【定員】 150人 ※先着順

【参加料】 ※損害保険料含む

登録者：400円 一般：600円

【服装・持ち物】 ※初心者向け

運動のできる服装、タオル、体育館シューズ、登録修了証(修了者のみ)

【内容】 ダンスフィットネスエクササイズを行い、運動前や運動中、終了後にサプリメントを摂取することにより、脂肪燃焼効果を体験

【申込受付開始日時】

5月23日(火) 午前9時

【申込先・問い合わせ】

ゆめドームうえの ☎ 22-0590

スポーツ振興課

☎ 22-9680 FAX 22-9692

(5月18日(金)まで)

☎ 47-1284 FAX 47-1290

(5月21日(月)から)

### 募集 天然記念物保護管理 ボランティア育成講座

市内の天然記念物の保護管理に協力していただける人を対象に、必要な知識や技能の習得をめざす講座(全2回)を開講します。

【第1回】

《と き》 6月9日(出)

午前9時～午後5時 ※小雨決行

《内容》

市内の天然記念物などの見学会

【第2回】

《と き》

9月下旬 午前9時～正午

《内容》

天然記念物保護管理についての実習・講義

【ところ】

市内各所

※詳細は参加者に連絡します。

【講師】

文化財保護審議会委員

文化財保護指導委員

【受講料】

100円(各回)

※傷害保険料

【申込期限】

6月5日(火) 午後5時

【申込先・問い合わせ】

文化財室

☎ 22-9681 FAX 22-9691

(5月18日(金)まで)

☎ 47-1285 FAX 47-1290

(5月21日(月)から)



～差別をなくしていくために～

## 男は仕事、女は家庭？ — 青山支所住民福祉課 —

■このコラムは毎回いろいろなテーマで人権についてお話しています。

テレビの情報番組で、男性歌手Aさんと女優Kさんの妊娠・結婚の話題になった時のことです。番組出演者の一人が、「Kさんには、これを機に引退して家庭でAさんを支えてほしいですね。」とコメントしました。するとほかの出演者も口をそろえて「そうですね。」と返事をしました。それを聞いていて少し違和感を覚えました。まるで「男は仕事、女は家庭」と性別で役割を押し付けて、AさんとKさんの気持ちが尊重されていないように感じたのです。

さまざまな家庭の事情があるでしょうし、「男は仕事、女は家庭」という考え方も含め、いろいろな考え方があっていいと思います。その一方で、仕事を続けたいという気持ちや、社会で活躍したいという思いも尊重されるべきではないでしょうか。

妊娠・出産を機に多くの女性が仕事を辞めてしまいま

す。日本では、欧米諸国に比べて育児と仕事を両立する環境が整っていないため、仕事を続けたいと思っても、あきらめることが多いのです。日本の男性が子育てや家事をする時間は、1日30分程度と先進国のなかで最低の水準です。また、30%の男性が育児休暇の取得を希望しているにもかかわらず、実際の取得率は1.7%にとどまっています。ちなみに世界一取得率の高いノルウェーでは、90%を超えています。今後、育児休暇や短時間勤務(1日6時間)などの両立支援制度の普及をすすめ、男女ともに安心して制度を利用できる職場環境を整えていくことが求められています。

長引く不況で共働き世帯が増えています。育児や家事、介護などについて、家庭の中で負担が偏っていないか、毎日の生活を一度見つめ直すことが大事だと思います。